
令和2年度

事業報告書

社会福祉法人育美会

貴精保育園

令和2年度事業報告

貴精保育園

ひとりひとりの思いを大切に考え対応していく保育を行いました。

処遇について

新型コロナウイルス感染症に気をつけながら保育を行っていくことを一番に考えなければいけない一年でした。

その中で、ひとりひとりの思いを大切にする保育をより実践していくため、子ども達がのびのびと生活できるように皆で協力して保育を行いました。

発達が気になる子に対しては、研修に参加するなどして専門的なスキルを身に付けた障害児担当保育士を配置し対応しました。

今年度も川越市や特別支援学校から巡回指導に来てもらい、関わり方を学びました。

問題を抱えている家庭に対しては担任だけでなく場合によっては園長や主任が話を聞いたり行政に相談しながら対応しました。

緊急事態宣言が出され登園自粛のお願いをしたり、保育園の対応に不満を持つご家庭もあったようですが、丁寧に対応するよう心がけました。

毎年、大切にしているお年寄りとの交流が全くできませんでした。また、むさしの保育園と園児同士の交流もできませんでした。

具体的な保育内容は年間の保育計画、行事計画に基づき、月案、週案を作成して実践してきました。

食育では、今まで年長児が中心だった取り組みも食育担当保育士が計画を立て、園庭で野菜を栽培したり野菜の皮むきなどは2歳児クラスから取り組んだり、感染防止に気を付けながら行いました。

アレルギーのある園児は2歳児クラスに進級し、栄養士、調理員、担任、園長、主任で連携をとり事故のないように対応しました。アレルギーのある園児は年度途中で解除になりました。

運営状況について

一時預かり事業は新型コロナウイルス感染症はあまり関係なく、利用したいという問い合わせは多かったと思います。3月までの利用者は延べ245名でした。

子育て支援室「つばみ組」は、国から緊急事態宣言が発出された期間は休室となりました。

また、緊急事態宣言解除後は、予約制で1日3組まで、という条件で開室することになりました。3月末までの利用者は延べ675名でした。

昨年度ケガをしてしまった園児がいたので、園庭整備を考えていましたが、11月に園庭の半分だけですが整備することができました。残り半分の整備も進めていきたいと思います。

4月より保育士（常勤）1名、栄養士（常勤）1名を採用しました。

厨房の派遣職員は9月までの契約としました。

その他

昨年から障害児担当保育士補助金対象となっている4歳児は4月から、4月に入園した2歳児は7月から対象となりました。

また、集団での保育が難しい園児、保護者が心配している園児に関しては、保護者と面談を行ったり、埼玉県立川越特別支援学校の先生に巡回指導をお願いして対応を相談し保護者対応についても教えてもらいました。

就学を見据え、年長児の発達が気になる子に対しては、個別に面談を行い、保育園で配慮しているところなどを保護者に伝え、市の就学相談に行ってもらうように勧めました。ホールを活用してのコンサートやイベントについては、今年度は「荒馬座公演」1つだけ行いました。公演の際は感染対策を徹底しました。

年度はじめは、緊急事態宣言が出され登園自粛する園児が多い中での保育でした。年末12月頃からまた感染者が増えてきた為、園内の消毒や子ども達の手洗い、うがいの習慣づけをもう一度、徹底して感染予防に努めました。また、補助金を利用して全ての保育室に空気清浄機を設置しました。

1月に職場でコロナ陽性者が出て検査を行ったところ陽性だった。という保育園への送迎もしている保護者の方がいました。他の家族に感染することなく感染が広がることはありませんでした。すぐに行政とも連絡を取り対応しましたが、この時の経験を踏まえ今後も対応していきたいと思います。